

学位被授与者氏名	周 鈺淇
論文題目	中国語学習における異文化理解の手段 ―ポップミュージックを中心に
論文審査結果の要旨	<p>ポップミュージックを外国語学習に取り入れるこれまでの研究及び実践には、ポップミュージックを異文化理解の一手段として展開、かつその効果を実践的に調査・検討するモノはなかった。そういう意味で、中国語学習者を対象とし、異文化理解におけるポップミュージックの役割を実践を通して検証する本研究は高く評価できる。</p> <p>異文化理解も一目標となる外国語教育の実践において、「文化」をどのように捉えるか、どのように導入するかは依然として未解決な問題である。本研究では、『21 世紀の外国語学習スタンダード』（全米外国語教育協会 ACTFL、1999）が提案した「文化の 3 P（Practices・Products・Perspectives）」モデルに基づき、ポップミュージックを中国文化の媒体として学習者に鑑賞させることによって、文化的「行動 Practices」及び文化的「産物 Products」に触れさせ、さらに、学習者に課題を解かせることによって、それぞれの背景にある文化的「観念 Perspectives」を思考させ、理解させる。このような「文化」の捉え方、「文化」の取り入れ方は中国語教育においても大変有意義な試みである。</p> <p>今回の研究は少人数の諸学者クラスを対象に、ポップミュージックを鑑賞するという形で行ったが、結論の応用性を高めるため、異なる言語レベルの学習者、かつより自由なスタイルでポップミュージックを取り入れた実践的な研究が必要であろう。また、コロナ禍の影響で、本研究の実践（鑑賞及び課題）はすべて学習者が自主的に行ったが、対面の個別指導や即時のフィードバックができなかったことや仮説検証は学習者がオンライン上に提出したアンケートの回答のみに基づいたことなど、これらの点の改善は今後の研究の課題となる。</p> <p>2022 年 2 月 10 日に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 3-321 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>